

○1年生の様子（写真を見せながら）

○斜めの関係を上手に使う。

親が直接叱ったりほめたりするよりも効果的なことがあります。

仲良しの子の保護者 隣のクラスの先生などを効果的に使いましょう。

○学校内や関係諸機関等、相談できる人はたくさんいます。一人で抱えずに相談しましょう。

学校教職員：担任、学年主任、養護教諭、スクールカウンセラー、副校長、校長 等  
地域の方々、学校運営委員、PTAの方々、教育相談室、児童相談所、警察少年係 等

○叱るときの5原則

①行為だけを叱る ②時間をおかずに叱る ③どの行為をどんな理由で叱っているかを明確に ④叱る人の責任で叱る ⑤他の人と比べない

○うわさ話、本当の事かどうかわからない内容のメールやLINEは怖いです。

責任が取れますか？

大人が、SNSの上手な使い手の見本になりましょう。

○「ありがとう」「ごめんなさい」は大事です。

ちゃんと感謝できる、そして謝れる大人でありたいです。

○子どもの話や様子から、子どもを取り巻く状況や子どもの内面が見えます。

- ・何でも話す
- ・何も話さない
- ・良いことしか言わない
- ・悪いことしか言わない

心配をかけたくない気持ち 心配してほしい気持ち 子供の気持ちは複雑です。

○子供は動画、大人は静止画

- ・子供たちの生活は、日々動いています。人間関係もそうです。

○「小さい口 大きな耳 優しい目 信じる心」

何でもしてあげることが必ずしも良いこととは限りません。だまって抱きしめてあげることも大事です。

○子どもの持ち物の把握（ランドセル・筆箱の中身チェック）

- ・買ってあげてないものを持っていますか？（交換× あげる・もらう×）
- ・学校に持って行くべきでないものは入っていませんか？
- ・危険なものは入っていませんか？
- ・あるはずのものが、なくなっていますか？

校長として・・・

- 1 毎朝、正門で子どもを迎えています。
- 2 毎日、学校にいる時は校内を見てまわっています。子どもと距離の近い校長でありたいです。
- 3 校長室には、どうぞ気軽にお越しください。特にちゃんと時間をとって話したいときは事前にアポイントを取っていただくと助かります。副校長に話しても結構です。常に情報は共有しています。